



Fox Wedding

R

18

FOR
AGES 18
AND UP!



昔々ある所に
物好きな妖怪が
おったようじゃ

その妖怪は
天気雨のときに現れ
見初めたおなごを
攫っていくという

まこと珍妙だか
恐ろしい妖怪じゃ

だから天気雨の時は
山に入つてはいけないよ

とつて食われちまう
かもしれないからね



——つていう話が
この辺の山あるらしいよ

そっけないなあ

よくある
教訓話でしょ

雨の山は
気を付けろ
みたいな

ふーん

まあそうねえ

でもでもちよつと
ロマンチックじゃない？

惚れてつれてく
なんてさ

ええー？雨時に現る
ただの不審者でしょ

フツに怖いよ？
何されるかわかんないし

ロマンがないなあ

確かにココは
大人だよねえ

生憎そういうの
興味がないの

子供じゃ
あるまいし

その話は
おしまい!

まったく...

あはは...

なな!
なな?
なな!

でも中身は...

しかし田舎よねえ
遊びにおいでうって
いつておいて
何もないのも…

ジャリ

ジャリ

夕飯まで
することが
ないなあ

へ…
こんなところに
道があったんだ

山登りか…

そんな大した
山じゃなさそうだし

時間つぶしに
のぼってみますか

ガサ

カサ

カサは一応
もってこい



あれっ？
もう開けてる

地図じゃもつと
山道が続くって…

なのにさっきより
暗くなってるような…

へんなの——

ん？

ガッ



キツネだゝ



まだ小さいなゝ
親は？

こんな山に
いるんだ



あゝ



はぐれたの？

タ
タ
ッ





誠に喜ばしゅう
存じ奉ります

ブッ

?!
!!

あ

お幸せに

ブッ



ブッ

何十年ぶりか

これはこれは

新しい「器」の確保に
ずいぶん手間取ったが

これでもう
しばらくは安泰じゃ

ヌルル...

10ニ

ぬる...

これでまた
我が種が
繁栄するというもの

ぬる...

ちゅる

ぬるっ

許せよ
名も無き娘よ

ぬる...

舌



新しい器よ

今日より我らが
糧になることを
誇りに思うが良い

そして良き「器」と
ならんことを

実にいい身体だ
弾力も柔らかさも
申し分ない

感度も悪くない

ブル

アッ

アッ

ぬる

これなら
耐えられる
じやろうて

ぬと

ぬ

じゅる...

アッ



今宵よりそなたは
人でなくなる
別れを告げるが良い



催淫液で痛みもない
存分に受け入れよ

さて 儀式をはじめよう

飲めや歌えや...

はーっ

ゴッゴッ

うっ

はーっ

はっ

はっ

びん

びん

あゝ

ズズ...

ズズ...

グメン



あッ

おお 入る入る

ズッ

あうッ

ズッ

ズッ

下準備はちゃんと
せねばの

ブルン

ズグ

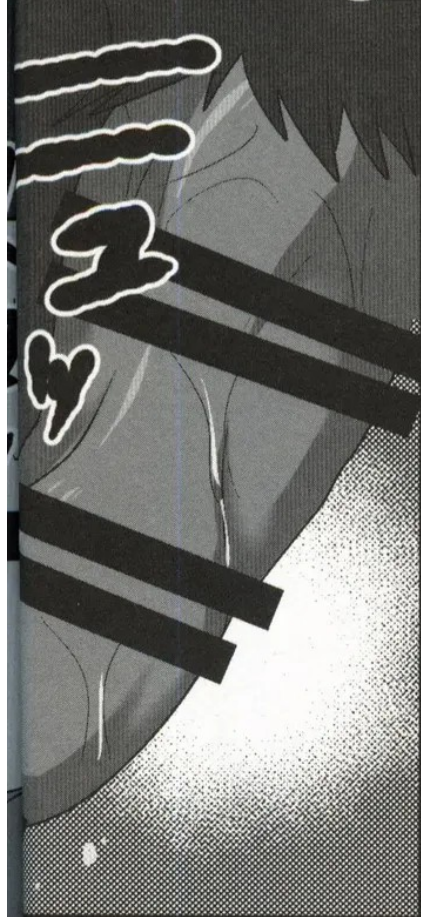
液もよう効いて
声色もよさげじやて

ズグッ

あッ

あッ

ズグッ





おお心地よいか
我が子よ

もぐもぐズグ

もぐもぐ

ぬめ

ズグ

それはよかった
存分に出すとよいぞ

我が体液を注いだ器
そう簡単には壊れぬ

びん

はっ

はっ

びん

あう

あま

びん

ゆるみ

好きなように
扱うが良いぞ

ゴ

ハ

は

ネト...

ト
ウ
ン

ぬる

中子♡

は

コ
コ
コ
コ

大分ここにも
馴染んできたな

いゅわっ♡

いゅる

一週間程か
今やもう人の理性も
残っておらぬ

はっ

くちゅ

くちゅ

精を貪る
獣…いや肉塊よ…

それでこそ
器にふさわしい

あーっ♡

くぽっ♡

あはっ♡

おっ
おっ

ビ
ッ

フル
ッ

仕
上
げ
だ
赤
子
を
出
す
ぞ

オ
ウ
ン

挿
れ
た
だ
け
で
躍
動
を
感
じ
る
わ

は
よ
う
は
よ
う
出
て
こ
い
出
て
こ
い

我
ら
が
種
族
は
同
種
の
精
を
浴
び
る
こ
と
に
よ
つ
て

覚
醒
も
早
く
な
る

ん
へ
っ
っ

あ
っ
っ
っ

ト
ッ
ッ

い
っ
っ
っ
っ





……さて
早速だが



キレイな
ややこじや……

次は二匹同時に
どうか

なにせ後がつかえて
おるでな

なあに一度産めば
一匹も二匹も同じこと

ケンゾクとなつたお主には
快樂でしかないのだから
身をゆだねておればよい

ズラ

頼むぞ

はい…♡

はっ

はっ

END



妖怪:おちんぽ九尾 日照雨(そばえ)

大きな妖狐。山に入る若いメスケモをとらえては自分の社に引き込み繁殖の道具(器)にしていたが噂を恐れて山に入るものがいなくなり困っていた。天気雨つまり日照り雨(そばえ)の時にしかこちらの世界にこれず、山から出れない。息子たちは影響をあまり受けないので山中においては行き来自体は自由。

捕えた娘は自身の妖液漬にして記憶・理性をなくし性に対し従順にさせる。その上で子種を腸内や子宮に流し込み一週間程胎内養育し出産させる。その間自身の妖気を注ぎ込み続ける。尚生殖器は股間の一本のみ。他の触手は主に催淫液を出して、細かく分裂が可能。出産時に娘もおちんぽ九尾の眷属となる。目的は子孫の繁栄。産まれる子孫は全て♂の為此のような方法を取る。ある程度子を成した娘は妖力を失うため繁殖に向かず養分として吸収されるものがほとんど。誠恐ろしい妖怪である。

というオハナシでしたチャンチャン。自分でもナンダコレ…な本になりましたがいかがでしたでしょうか。それではまたどこかで。ありがとうございました。

※この本の未成年者の閲覧・購読を固く禁じます。
また本文の無断転載・ネットへのUP・ネットオークションへの出品も絶対におやめください。皆様のご協力・ご理解を宜しくお願いします。

発行日:2016/5/3 印刷所:栄光印刷
発行者:瑠璃燕(Pixiv id=300876)
連絡先:kimuchinabe_naruga@hotmail.co.jp

Fox wedding